

授業科目 ドイツ語 II

【担当教員名】 山田 容子	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	◎	◎	◎

【概要】  
ドイツ語の構造を把握する  
ドイツの文化に親しむ

【学習目標】  
1. 文法機能を理解し運用する  
2. 辞書を用いて一般的なテキストを理解する・表現する  
3. 日常的な場面における談話能力を身に着ける  
4. 学習項目を総合的に確認し定着をはかる  
5. 文化的な知識を増やす

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ドイツ語 I の復習	4	講義・グループタスク
2	7 課 - 1 3 格	1.3	講義・グループタスク
3	7 課 - 2 3 格を使う動詞とその運用	1.3	講義・グループタスク
4	7 課 - 3 前置詞の運用 3 格支配 / 4 格支配	1.3	講義・グループタスク
5	7 課 - 4 形容詞の比較級 最上級	1.3	講義・グループタスク
6	6 課 - 1 変換前置詞の運用	1.3	講義・グループタスク
7	6 課 - 2 過去形と現在完了形	1.3	講義・グループタスク
8	6 課 - 3 過去や経験を談話する	1.3	講義・グループタスク
9	6 課・7 課の整理とまとめ	1.3.4	講義・グループタスク
10	5 課 - 1 ホテルや飲食店での談話練習	3.4	講義・グループタスク
11	5 課 - 2 8 課 - 1 WEB でドイツ情報を自ら探す、入手する	2.5	講義・グループタスク
12	8 課 - 2 読み作業とまとめ	1.2	講義・グループタスク
13	手紙の読み方・書き方	1.2	講義・グループタスク
14	DVD 鑑賞	4.5	映画鑑賞
15	総まとめ 試験準備	1.2.4	講義・演習

【使用図書】	<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	「ドイツへ行こう! Auf Angela Braun、同学社 nach Deutschland!」 Preugschat、平山 令二 2005・2,500 円+税・ドイツ語 I で使用したものと同一教材。後半部を使用します。
参考書	
その他の資料	独和の辞書 (好きなものでよい。中古でもよい。)

【評価方法】 出席や積極的な授業態度を重視し、頻回な小テスト・課題提出・期末テストで総合的に評価する。	【履修上の留意点】 ドイツ語 I レベルは習得済みであること。継続的な出席や予復習が強く望まれる。
--	--